

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	Academic English for the Second Year II		
英文授業科目名	Academic English for the Second Year II		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 電子工学科 知能機械工学科 システム工学科		
担当教官名	松原 好次		
居室	東1-807		

公開E-Mail	授業関連Webページ
matsubara-k@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題： 自分の考えや意見を分かりやすい言葉で伝える力は、社会の様々な場面で必要とされている。日常的なコミュニケーションは無論のこと、各自の専門分野における調査・研究の結果を発表する際にも、この力が要求されていることは明白である。日本語と英語では発想に多少の差異があるものの、論理的な思考に基づいて分かりやすい言葉で表現することが重要である点は共通している。以上の観点から、本科目では自ら書いた英文を基にスピーチやプレゼンテーションを行なうことに重点を置く。</p> <p>(b) 達成目標： 本科目の達成目標は、パブリック・スピーキングの理論を理解したうえで、その理論を実践に移すことのできる力の修得である。興味あるトピック（一般的・専門的いずれでも可）について各自がスピーチ原稿を作成し、効果的なスピーチにするための推敲を施したのち、実際にクラスで発表することを目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
Academic Written English I & II, Academic English for the Second Year I

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】

教科書：

石谷由美子、スザンヌ・エンブリー著『Outlook on Science and Technology—構造で読む自然科学エッセイ』
(南雲堂)

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容：

第1回 パブリック・スピーキングの意義について学ぶ。

第2回 英語スピーチの構成及び発表上の注意点について学ぶ。

第3回～第16回 さまざまなトピックでスピーチ原稿を書き、推敲したのち、順次クラスで発表する。原稿作成の段階では、エッセイ・ライティングの手法を応用して、以下のような論理の展開法を利用する。

- (1) まず意見・結論を示し、次に理由を明示して正当性を裏づけ、結論に導く。
- (2) まず理論・仮定を提示し、その後で実験方法を説明したうえ、実験結果の報告・解釈を述べる。
- (3) トピックの提示に続いて賛成・反対を明示し、その後に理由を付し、結論に導く。
- (4) データを提示した後、具体的に説明し、そのデータから何が分かるか、なぜそのような結果になるのかを述べて、結論に導く。
- (5) その他(比較・対照、手順・過程、分類、定義、時間的順序など)。

(b) 授業の進め方：

エッセイの全体像把握に力点を置くと同時に、「書く」技法のディテールもおろそかにせず授業を進める。特に、日本語を母語とする学習者が陥りやすい間違いを指摘する。具体的な進め方は以下のとおり。

- (1) 音読を含む「読む」作業のなかで、英語スピーチの構成を把握する。その際、論理の展開に機能表現・つなぎ表現がどのように使われているかを確認する。
- (2) 様々な論理の展開法を利用して、与えられたトピックでスピーチ原稿を書く。各授業のポイントに関する課題は授業終了時に提出することを原則にするが、次の授業までの提出課題とする場合もある。
- (3) よくある間違いを指摘する。その際、英語スピーチの構成や論理展開に関する間違いだけでなく、英語を書く技法のディテールに関するものも指摘することによって、自らの力で推敲することができるようになるための視点を提供する。
- (4) 推敲された原稿をもとに各自が順次スピーチをする。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)評価方法：

毎授業時に作成するスピーチ原稿（60％）＋スピーチの発表（40％）

(b)評価基準：

以下のレベルをもって合格の最低基準とする。

- ・毎授業時に作成するスピーチ原稿で、ポイントに沿った英文が書けていること。
- ・構成面だけでなく、発表面でも聞き手にとって分かりやすいスピーチになっていること。

【オフィスアワー：授業相談】

火曜日 12：15～12：45

【学生へのメッセージ】

自分の考えや意見をまとめたうえで発表する練習をします。初めはうまく出来ないかもしれませんが、次第に慣れてくると思います。

【その他】